



蚕糸・昆虫バイオテック Journal of Insect Biotechnology and Sericology 投稿規程

1. 掲載論文

蚕糸・昆虫バイオテックに掲載する論文は和文を、Journal of Insect Biotechnology and Sericology に掲載する論文は英文を原則とする。また、内容は主として蚕糸・昆虫利用に関するものとし、その種類は報文 (Regular Articles)、テクニカルレポート (Technical Reports) および短報 (Short Communications) とする。投稿論文は学術的あるいは技術的に新しい価値ある結論または事実を含むもので、印刷未発表のものでなければならない。

総説 (Review) は原則として編集委員会が執筆を依頼する。執筆希望の際は事前に編集委員長との相談を要する。

2. 投稿原稿の採否

投稿原稿の採否は編集委員会が決定する。編集委員会は 2 名の査読者の意見に基づいて、採否、修正等の必要性を決定する。査読期間は、第 1 審は 3 週間、第 2 審以降の場合は 2 週間とする。査読期間を過ぎても報告がない場合には、期日の直後から編集委員長が催促を行う。期日の後 1 週間を限度とし、さらに報告が遅れる場合には査読者を交代することもある。

修正を求められた原稿で、返送の日より 2 ヶ月を経過した後再提出された場合は、原則として新たに投稿された原稿として取扱う。

採択された原稿は原則として報文、テクニカルレポートおよび短報それぞれの受理月日順に掲載する。

3. 原稿および投稿手続き

- 1) 原稿は電子メールにより投稿すること。なお、従来からの紙媒体 (紙に印刷した原稿) の郵送による投稿も受付ける。

電子メールでの投稿: PDF 形式の原稿ファイルと原稿送状を、編集委員長宛てに電子メール添付にて送付する。

紙媒体での投稿: 投稿原稿の正およびコピー各 2 部 (写真については焼増したもの) と原稿送状 1 部を編集委員長宛てに書留で送付する。

原稿送付先:

〒819-0395

福岡市西区元岡 744 ウェスト 5 号館 557 号室

九州大学 大学院農学研究院 天敵微生物学研究分野
蚕糸・昆虫バイオテック, JIBS 編集委員長編集委員長

青木 智佐

E-mail: yasunaga@grt.kyushu-u.ac.jp
(電話 092-802-4575)

- 2) 原稿の作成にあたっては、3 頁以降の「**原稿作成要領**」を参照のこと。

- 3) 蚕糸・昆虫バイオテックへ投稿する和文原稿の欧文表題、欧文摘要など、および Journal of Insect Biotechnology and Sericology へ投稿する欧文原稿については、必要に応じて、ネイティブによる欧文校閲を受けた上で投稿すること。

- 4) 投稿原稿送状の様式は、学会ホームページに掲載のものを利用する。また蚕糸・昆虫バイオテックへの投稿の場合は、別刷とその表紙の希望の有無ならびに部数を 50 部単位で記入すること。

- 5) 審査を経て最終的に確定した原稿は、それぞれ、本文および図表の説明等を Word ファイル、図を PowerPoint ファイル、表を Excel ファイル形式として、編集委員長宛てに郵送または電子メールにて送付する。

なお、郵送の場合は、それらファイルを 1 つの電子メディア (CD-R, DVD-R, または USB フラッシュメモリ) にまとめ、このメディアとともに最終原稿 (正本 1 部) を、輸送中の破損がないように配慮し、書留便にて編集委員長宛てに送付すること。紛失などの事故を考慮して原稿およびメディアの控を保存しておく。郵送にて提出された原稿およびメディアは原則として返却しない。

4. 校正

初校はゲラ刷について著者が行い、定められた期日までに書留便で返送する。電子媒体の場合はメール添付で返送する。校正は誤植の訂正にとどめ、変更は認めない。

5. 掲載料・別刷料

- 1) 会誌刊行後、著者は下記に定める掲載料を支払うものとする。

蚕糸・昆虫バイオテック:

刷り上がり 1 頁につき

モノクローム頁 6,200 円

カラー頁 16,200 円

Journal of Insect Biotechnology and Sericology :
(定額制)

仕上がり 4 頁まで 30,000 円

5~10 頁 60,000 円

以降超過 1 頁につき 4,500 円

- 2) 第一著者もしくは責任著者が本会非会員の場合には、以下の投稿料を別途負担するものとする。

非会員投稿料 10,000 円

- 3) 蚕糸・昆虫バイオテックで別刷を希望する場合は

以下の別刷料を支払うものとする。

別刷 1 部につき	100 円
表紙	6,000 円

4) 領収書の必要な場合は申し出ること。

6. 著作権

掲載論文の著作権は学会に帰属する。
これらの一部または全部を記載、または複写配布する場合は事前に編集委員長の許可を要する。

原稿作成要領

1. 投稿原稿の書式は A4 版で縦長・横書きとする。周囲に標準余白（上：35 mm，下および左右：30 mm）をとり，1 行 40 字（欧文原稿の場合は 80 字以内）・22 行を 1 頁とする。なお，左側余白に全文を通しての行番号をつけることが望ましい。和文原稿の句読点には「，」，「。」を使用する。

2. 原稿は次の順序で記述する。

1) 和文原稿

原稿の第 1 頁には，論文表題，著者名，所属機関の名称・所在地，欄外見出し（ランニングタイトル），欧文表題，ローマ字の著者名（フルネーム），欧文の所属機関の名称・所在地，および責任著者の情報のみを記し，本文は第 2 頁から書き始める。なお，所属機関の所在地はできるだけ詳細に記載すること。また，欄外見出しは全角 20 字以内とする。

原稿の構成は，一般に，**欧文要約**と **Key words**，**緒言**，**材料と方法**，**結果**，**考察**，**摘要**，**引用文献**の順とする。図および表の説明はそれぞれ一まとめにしてこの後に置く。なお，欧文要約は 250 語以内，英文 Key words（4～6 語）をアルファベット順に記載する。摘要は 400 字以内とする。また，欧文要約のある原稿のときは，図および表の説明は欧文でもよい。短報では欧文要約は不要とする。

2) 欧文原稿

原稿の第 1 頁には，論文表題，著者名，所属機関の名称・所在地，欄外見出し（ランニングタイトル），および責任著者の情報のみを記し，本文は第 2 頁から書き始める。なお，所属機関の所在地はできるだけ詳細に記載すること。また，欄外見出しは半角 45 字（スペースを含む）以内とする。

原稿の構成は，一般に，**ABSTRACT**と **Key words**，**INTRODUCTION**，**MATERIALS AND METHODS**，**RESULTS**，**DISCUSSION**，**ACKNOWLEDGMENTS**，**REFERENCES**の順とする。**Figure legends** および **Table titles** はそれぞれ一まとめにしてこの後に置く。なお，**ABSTRACT** は 250 語以内，Key words（4～6 語）をアルファベット順に記す。Short Communications では Key words（4～6 語）を記載するが，欧文要約は不要とする。

以上の体裁については，ウェブページに掲載の **PDF サンプル**を参照のこと。

3. 単位および略記号の表し方は，km，m，cm，mm， μm ，nm，ha，a（アール）， m^2 ，ml， μl ，kg，g，mg， μg ，h，min，sec，%，rpm，ppm，M（モル濃度），mol， $^{\circ}\text{C}$ ，kcal，pH，RH（相対湿度），R， ^{32}P （放射性リン）などとし，単位は原則として CGS 単位を用いる。

4. 本文中での論文引用は以下のように記載する。

単著の場合：

阿部（1978）または（阿部，1978）
Persons（2004）または（Persons，2004）

著者が 2 名以上の場合：

四方・村田（1969）または（四方・村田，1969）
Clarke and Clem（2003）または（Clarke and Clem，2003）
蜷木ら（1997）または（蜷木ら，1997）
Cross *et al.*（2011）または（Cross *et al.*，2011）

複数論文連記の場合（年代順に配列）：

（Clarke and Clem，2003；Persons，2004；Cross *et al.*，2011）

5. **引用文献（REFERENCES）**は著者名のアルファベット順に，同一著者については年代順に配列する。

同一著者の文献は年代順に配列し，同年に発表されたものには年号の後に a，b，c，...を付して区別する。著者が 3 名以上のときには，第 2 著者以降が異なっても，同年に発表されたものには同様に年号の後に a，b，c，...を付す。

共著論文は第 1 著者のアルファベット順，次は第 2 著者のアルファベット順（以下，同様）に配列する。

1) 学術雑誌より引用する場合：著者名，年号，論文表題，雑誌名，巻，頁の順とする。各巻が通し頁でない雑誌については，括弧内に号を示す。
例)

四方正義・村田 武（1969）産卵の脂質に関する研究．日蚕雑，**38**，1-10.

Gryniewicz, G., Poenie, M. and Tsien, R.Y.（1985）A new generation of Ca^{2+} indicators with

greatly improved fluorescence properties. *J. Biol. Chem.*, **280**, 3440-3450.

2) 単行本を引用する場合：

著者名，年号，本の名前（初版以外の場合は版数），総頁数（または引用頁），発行所，同所在地の順とする。

例)

田中克己（1976）顕微鏡標本の作り方（第15版），p. 280，裳華房，東京。

Wagner, R.P. and Mitchell, H.K. (1964) In *Genetics and Metabolism* (2nd ed.), p. 673, John Wiley and Sons, Inc., New York.

3) 共著の単行本の一部を引用する場合：

著者名，年号，本の名前，編者名，引用頁，発行所，同所在地の順とする。

例)

辻田光雄（1952）家蚕遺伝学（田中義麿編），pp. 373-417，裳華房，東京。

Mayer, M.S. and Mankin, R.W. (1985) In *Comprehensive Insect Physiology, Biochemistry and Pharmacology* (Kerkut, G.A. and Gilbert, L.I. eds.), Vol. 9, pp. 95-144, Pergamon Press, Oxford.

なお，雑誌の略名は，最近の本誌，Biological Abstracts および Chemical Abstracts による。